

神奈川ウォーキング参加 H23-18

相模西国三十三観音札所巡り一Ⅲ

日時：平成 24 年 4 月 22 日（日） 集合 平塚駅西口改札出口 9:45

コース：平塚駅→<バス・遺跡公園前>十九番札所「大松寺」→二十番札所「明王寺」→二十一番札所「東福寺宝積院」→<バス・平塚駅>→「魚八」（昼食）→十八番札所「蓮光寺」→十七番札所「乗蓮寺」→十六番札所「海宝寺」→<バス・平塚駅>解散 15:30 15,000 歩 約 10km
 （伊藤自宅含め 17,000 歩 約 11km）【今日は寺の都合により、十三番・十四番・十五番札所を飛ばして十六番～二十一番札所に変更】

参加者：1 班 GL・大貫和子・鈴木徳・山浦和（総括 L）・平山（総括 SL）・藤原・平石幸・深瀬・野中（講師） 8 人
 2 班 GL・平林幹子・伊藤真・山浦レ・青山・中塚・高橋文・鳥畑・安藤・勅使河原 9 人
 3 班 GL・岸田和子・神谷・山内・河野・栗本・内田絵・濱崎和・早川（一般） 8 人
 4 班 GL・中村年代・青松秀・青松美・藤崎・杉浦・田村啓・田村邦・伊藤美・笹本（一般） 9 人
 総計 34 人

天候：曇り後半小雨

第 I 回、第 II 回と参加しており、今回も参加の積りでいましたが、締切日の 4/15 日山浦さんから電話で御誘いの電話が有りました。当初予定の十三番～十八番のお寺を、平塚市観光協会編集の「相模の札所巡り」で調べて参加しました。天候が不順で写真撮りを心配しておりましたが、最後の「海宝寺」を見終えた、14:30 頃から小雨が降り始める程度で助かりました。（資料は平塚観光協会「相模の札所巡り」他から引用しました。）

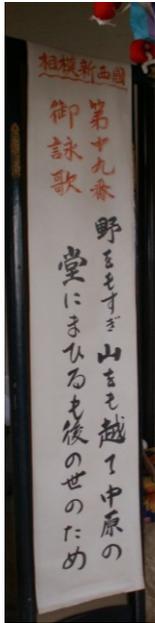


↑平塚駅西口改札出口で山浦御夫妻の資料渡しと、会費集金し予定のバスで出発。最初の 19 番札所「大松寺」に到着し、お寺前の広場で、田村さんによるストレッチ。山浦さんから、今日初参加の安藤さんと笹本さんの紹介。この企画の御馴染み総括 SL 平山さんと仏像講師野中さんの紹介と挨拶。

①十九番札所 樹伝山 稱名院「大松寺」【中原観音堂】浄土宗 聖観世音菩薩

芝増上寺の末寺で、1,613 年建立。創立は松風靈巖大和尚。本尊は阿弥陀如来





山浦さんの事前打ち合わせで丁寧に案内されました。仏像も写真OK

←珍しい「船乗りお地蔵」

大松寺を出て西に行き鈴川を合流させた渋田川を少し下ると東雲橋を渡り更に「金目川」を「玉川橋」で渡り、金目川沿いに下り、「明王院」に向う。

②二十番札所

徳龍山 「明王院」

天台宗 白衣聖観音菩薩

本尊は白衣観世音菩薩で、行基作で「法衣垂下像」平塚市重文指定。

開山は1510年。



平成二十年(一九二九年)三月



本尊 白衣観世音菩薩坐像

二、頭頂、袖先四五〇。

明王院

天台宗。徳龍山延壽寺と号し、江戸時代旧雷電社(現徳延神社)の別当であった。開山は旭影法印(永正七年(一五〇一年)四月十日寂)である。中世、徳延の地は伊豆走湯山神領に付されるなど北条氏の厚い庇護を受け、天文四年(一五三五年)、北条氏綱から「制札。明王院。此於寺中竹木切取。不可致狼藉者也。天文四年乙未十一月二十六日」との明王院を保護する制札を下付されている。また、江戸時代初頭、慶安二年(一六四九年)八月には徳川幕府より寺領五石の朱印状を賜っている。

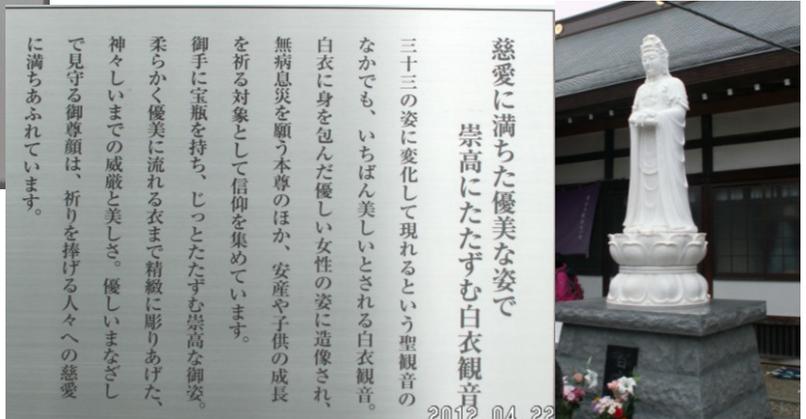
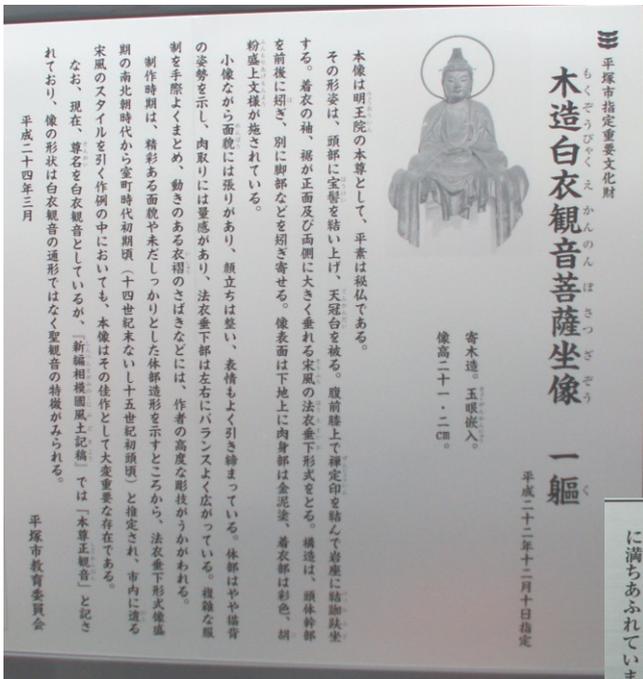
現在の本堂は、第二十世住職光宿法印が享保年間(一七一六年〜一七三六年)に旧寺地より現在地に移転新築したもので、平塚市内でも最古級の建物である。

本尊の白衣観世音菩薩坐像は禪定印を結び、両袖と裳裾を垂下し、岩穴風に作った岩座上に坐す。室町時代後半の造立と考えられ、平塚市域に残る法衣垂下像の佳例と評される。

なお、本尊の御開帳は、十二年毎の丑年のみとなっている(寄末造・玉眼・肉身部全泥・着衣彫彩色。像高二、二〇。頭頂、袖先四五〇)。

2012.04.22





「三十三の姿に変化して現れると云う、聖観音の中でも一番美しい白衣観音」本堂の写真はOKを貰いましたが、フラッシュは駄目でした。行基の作と言われています。野外の白衣像の前で野中さんの説明。→
 再び金目川を「平塚大橋」で渡り、宝積寺へ向う



③二十一番札所 医王山 「東福寺」

【宝積院】天台宗 聖観音菩薩：1478年太田道灌は精鋭50騎



で相州平塚城を急襲し、城主大森伊豆守憲頼は死地を逃げれたが、場内の人々は戦死した。遺骸227人を手厚く葬り、塚の上に観音堂を建てたので「観音山」と呼ばれるようになった。



るようになった。



←住職が彫刻をされる為、大木板が門の傍に飾って有り



←聖観世音菩薩

(本堂では法要中でしたが、写真を撮らせて戴きました)

・バス停「平塚大橋」から昼食会場「平塚駅・魚八」に向う

バス停のコンクリートに咲くスミレ→
強く活きます



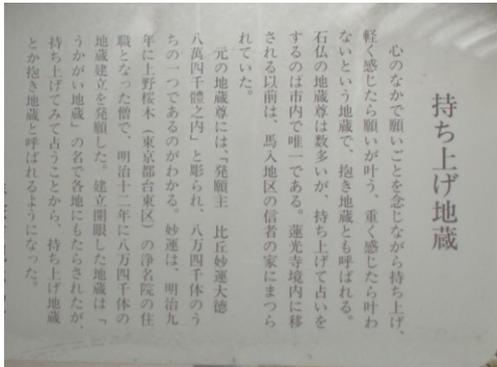
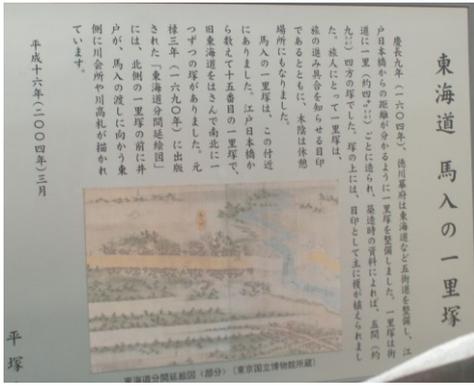
④昼食「魚八」：↓乾ししらすご飯の御膳



「魚八」山浦さんが事前に予約され、当日は貸し切りの地元産「乾しシラス御膳昼食」奥の和室掘り炬燵2席とカウンター前テーブル席で、生ビール（御褒美許可）で軽く喉を潤し、お店の家族の温かい御もてなしで、美味しく戴きました。

⑤十八番札所 馬入山 「蓮光寺」 真言宗

当日法要が行われており、本堂に入れず。残念でした。



←山門を正門から（写真左）と内側から（写真右）見る



蓮光寺の直ぐ傍は相模（馬入川）で、「馬入渡し跡」が有り「ホテルライフガーデン結婚式場」も有り、以前カメラウォーキング（H21.4/27）ここを通った記憶が有ります。

相模（馬入）川ウォーク



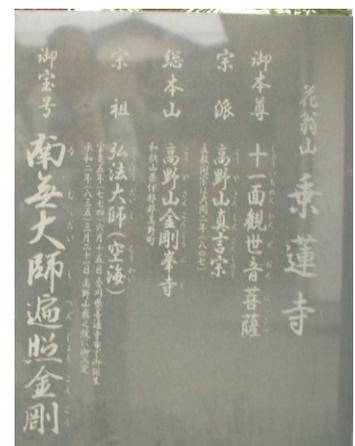


KWC 恒例の
葉の花を背に
一列整列



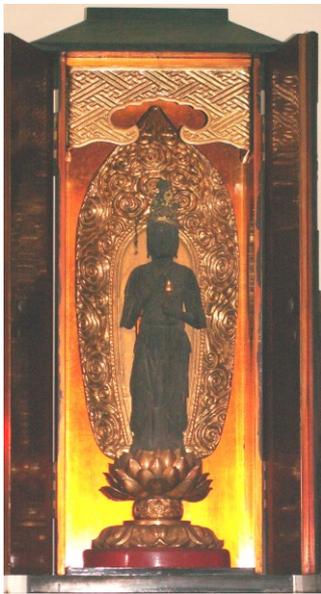
⑥十七番札所 花翁山 「乗蓮寺」真言宗 十一面観世音菩薩

地元の人は「海寶寺」「長樂寺」と並んで一番北に有るので「北の寺」と呼ぶ。ここも本堂には入れず。



←ぽっくり地像
PPK (びんぴんころり) 念仏を唱えていた人は誰!

⑦十六番札所 常園山 「海寶寺」 浄土宗 聖観世音菩薩



小雨もチラつき始め、クールダウンも省略し、バスで平塚駅へ

↑今日の主役、平山・山浦・野中さん御苦労様でした。

山浦総括しから「今日初参加の安藤さんと笹本さんが入会宣言されました」
相模新西国三十三番札所観音巡りⅢ「煩惱・乞う・希う」無事終わりました。
バスで平塚駅に行き、構内に有る予約済みの「戸風炉」でアフターウォーク



編集後記：相模新西国三十三札所観音巡り今日3回目で、18寺を終え、残り15寺になりました。日曜日は流石法要が多く、本堂に入れな所が有り残念でした。次回は5月17日(木)の予定になっておりますが、小生おとこの台所10周年記念事業「東伊豆・熱川温泉」5/16(水)~17(木)一泊旅行の幹事をやっており、残念ながら行けません。山浦・平山・野中3人の方、下見を3/31(土)悪天候の時やられたとの事。ご苦労に厚く御礼申し上げます。(小生は春休みで孫と伊賀の里「モクモク手づくりファーム」に入っており16時頃、30分の雨宿りで済みました)石山寺と室生寺にも行ってきましたが、室生寺金堂開放中で、国宝の本尊釈迦如来・十一面観音菩薩、重文の薬師如来・地藏菩薩・文殊菩薩を野中さんからの仏像資料を持って、ゆっくり拝顔してきました。菩薩は三十三身に変身するとの事ですが、全て綺麗なお母様で我々を守ってくれます。有り難うございました。